



オープンワークスペースで快適な遠隔会議を実現する

仮想会議空間生成技術



YVC-330

SoundCapモードを搭載し
オフィスのあらゆる場所を遠隔会議空間に

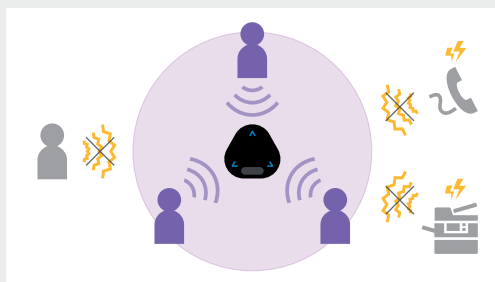
11月発売予定



オープンワークスペースで快適な遠隔会議を可能にする

SoundCapとは？

收音範囲制限機能



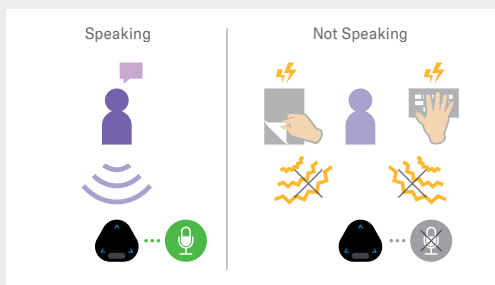
課題

オープンワークスペースには、周囲の話し声や電話の呼び出し音、コピー機のノイズなど、会議を妨げる雑音が多く存在します。従来、オープンワークスペースで遠隔会議を行う場合、会議参加者の声は雑音と混ざって相手側に聞こえるため、相手側は声を明瞭に聞き取ることが困難でした。

ソリューション

收音範囲制限機能は、本体の近くの会議参加者の声を收音する一方、会議に不要な周囲の雑音を抑制する機能です。複数のマイクを用いて、音の発生源と本体の距離を高い精度で推定し、遠くからの音だけを抑制します。收音範囲制限機能により周囲の雑音を抑制することで、会議参加者の声を明瞭に届けることが可能です。

マイク自動ミュート



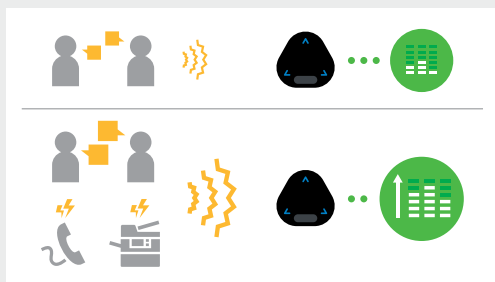
課題

従来、オープンワークスペースの会議参加者が発言していないときでも、周囲に存在するさまざまな雑音をマイクが拾って相手側に届けてしまうため、相手側は会議に集中することが困難でした。それゆえ、オープンワークスペースからの会議参加者は雑音を抑えようと、発言の度にマイクのミュートと解除を繰り返す、といった煩わしい操作を求められることがありました。

ソリューション

マイク自動ミュートは、オープンワークスペースの会議参加者の発言状態を認識し、自動でマイクミュート・ミュート解除を行う機能です。收音した音声信号から人間の声を瞬時に高精度に判定するHuman Voice Activity Detection (HVAD) と連携し、判定結果に応じてマイクミュートの操作を行います。これにより、オープンワークスペースからの会議参加者が都度マイクミュートの操作をしなくても、相手側は雑音に邪魔されることなく会議に集中することができます。

スピーカー音量自動調整



課題

従来、オープンワークスペースでスピーカーフォンを使用する際、周囲への配慮でボリュームを抑えて使用していると、周囲の雑音が大きくなった場合に相手側の声を聞き逃すことがありました。また、周囲の雑音が小さくなった場合、スピーカーフォンのボリュームが大きいままだと周囲に迷惑をかけたり、会議の内容が周囲に聞かれてしまうリスクもありました。

ソリューション

スピーカー音量自動調整は、周囲の雑音の大きさに合わせて、スピーカー音量を常に適切なボリュームに調整します。これは、收音した音声信号から人間の声を瞬時に高精度に判定するHVADにより実現する機能です。スピーカー音量自動調整により、オープンワークスペースで相手側の声を聞き逃すことはなくなり、また、周囲に迷惑をかけたり会話の内容を聞かれてしまうこともありません。

⚠️ 安全に関するご注意 ●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

●本製品の日本国外での使用については一切のサポート、保証をしておりません。●このカタログの記載内容は2019年6月現在のものです。●仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。●本カタログに記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標あるいは商標です。



このパンフレットは再生紙と植物油インクを使用しています。

音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎ **03-5651-1838** ■ FAXによるお問い合わせ先 📠 **053-460-3489**

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら <https://sound-solution.yamaha.com/support/uc/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

2019年6月作成

カタログコード MSOUNDCAP1